

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年6月5日(2023.6.5)

【公開番号】特開2023-30002(P2023-30002A)

【公開日】令和5年3月7日(2023.3.7)

【年通号数】公開公報(特許)2023-043

【出願番号】特願2022-197844(P2022-197844)

【国際特許分類】

A 6 1 H 5/00(2006.01)

10

H 0 4 N 5/64(2006.01)

【F I】

A 6 1 H 5/00 Z

H 0 4 N 5/64 5 1 1 A

【手続補正書】

【提出日】令和5年5月26日(2023.5.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

頭部に装着され、眼筋を訓練する視力訓練具であつて、  
装着部と、

表示領域が眼前に配置されるように前記装着部によって頭部に装着される画像表示部と、  
を備え、

前記表示領域には、訓練画像セットの訓練画像が順次表示され、前記訓練画像の表示によつて、注視領域と、前記注視領域より視認性が劣る非注視領域が形成され、

前記訓練画像セットは、左眼訓練画像及び右眼訓練画像の一方または双方を2以上含み、前記左眼訓練画像同士の前記注視領域が互いに異なり、前記右眼訓練画像同士の前記注視領域が互いに異なり、

前記非注視領域は、前記表示領域に前記訓練画像が表示されることで間接的に視認する外景における、視認困難な一部領域であり、

前記訓練画像は、左眼外景画像及び右眼外景画像に基づいて生成される複合現実画像である

ことを特徴とする視力訓練具。

【請求項2】

頭部に装着され、眼筋を訓練する視力訓練具であつて、  
装着部と、

表示領域が眼前に配置されるように前記装着部によって頭部に装着される画像表示部と、  
を備え、

前記表示領域には、訓練画像セットの訓練画像が順次表示され、前記訓練画像の表示によつて、注視領域と、前記注視領域より視認性が劣る非注視領域が形成され、

前記訓練画像セットは、左眼訓練画像及び右眼訓練画像の双方を2以上含み、前記左眼訓練画像同士の前記注視領域が互いに異なり、前記右眼訓練画像同士の前記注視領域が互いに異なり、

視界が覆われ、外景を視認不能な状態で前記訓練画像が表示され、

前記非注視領域は、前記表示領域に表示される画像における、視認困難な一部領域であ

50

り、

視線が前記注視領域の変動を追従することで、眼筋の訓練が行われることを特徴とする視力訓練具。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の視力訓練具であって、  
前記表示領域には、前記注視領域が所定方向に移動するように前記訓練画像が順次切り替えられて前記訓練画像セットが表示され、  
前記所定方向は、上下方向、水平方向、斜め方向、またはこれらを組み合わせた方向である  
ことを特徴とする視力訓練具。

10

【請求項 4】

請求項 3 に記載の視力訓練具であって、  
前記訓練画像セットは、1回の訓練において繰返し表示される  
ことを特徴とする視力訓練具。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の視力訓練具であって、  
前記表示領域には、前記注視領域の周辺に強調用の枠線または図形が表示される  
ことを特徴とする視力訓練具。

20

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の視力訓練具であって、  
前記訓練画像の切替えは、装着者の頭部の動きに応じて行われる  
ことを特徴とする視力訓練具。

30

40

50